

ゆたかクラブ豊橋だより

吉田春秋



第52号

発行／ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会) ■編集・印刷(株)博報社／名古屋市北区稚児宮通1-56 ☎0120-0212-09

8月29日、アイプラザ豊橋において第50回豊橋市高齢者福祉大会・豊橋市老人クラブ連合会創立50周年記念大会が開催されました。

第1部大会では、国歌斉唱、黙とうに続き佐原市長があいさつに立ち、「会員の皆さんが、元気で豊かな時間を老人クラブで過ごせるよう支援していきたい」と語りました。次にあいさつを行った金田会長は、「会員数、クラブ数が減少傾向にあるが、創立50周年を契機に会員増強に力を入れていきたい」と決意を述べました。



続いて顕彰に移り、まず老人福祉事業功労者(団体)として中村綾子さんおよび歌の輪会の皆さんと、50周年記念事業として単位老人クラブ会長を10年務めた36名の方々にそれぞれ市長感謝状が贈られました。

この後、思い出スライドの上映に続き、豊橋市老人クラブ連合会愛称披露が行われました。242件の応募の中から最優秀賞に選ばれた「ゆたかクラブ豊橋」が市老連の愛称に決まり、発案者の平尾信さん(大村校区・長瀬町仲よし会)に金田会長から賞状が手渡されました。また、優秀賞として西島昭雄さん(幸校区・牧野町長寿会)の「豊橋シニアフレッシュクラブ」が選ばれ、西島さんにも賞状が手渡されました。これを受け、金田会長より愛称が選ばれた経緯を説明すると



謝状が贈られました。引き続き、ダイヤモンド婚を迎えられた78組、金婚を迎えられた201組に市長より祝詞が贈呈され、それぞれの代表者が壇上で祝詞を受け取りました。

**第50回豊橋市高齢者福祉大会
豊橋市老人クラブ連合会創立50周年記念大会**

「ゆたかクラブ豊橋」に決定!

創立50周年記念講演

「アナウンサー生活25年 日常と舞台裏」



NHK名古屋放送局アナウンス専任部長 杉浦隆氏

当時、大晦日恒例の紅白歌合戦などの番組にどのアナウンサーを配置するかという割り振りを担当しており、休みもないくらい忙しく働いていました。しかしお酒を飲むのが大好きで、気づけば体重が93キロにまでなっていました。そんなとき、当初は階段を上るときに胸が痛くなる程度だったものが、そのまま放置した結果、最後は寝ているだけで胸が締め付けられるほど痛くなり、病院に行くと狭心症と診断され即入院となりました。その後、1日1600キロカロリーの生活を2年半続け、65キロまで体重を落とすことができました。体重計に頻繁に乗って成果を確認したり、正しい方法ばかりにこだわらず目先を変えてみる等の方法が役に立ちました。

ともに、「この愛称を有効に使うクラブをさらに発展させていきたい」と力強く述べました。

最後に、来賓の方々より祝辞を頂き、松橋副会長が大会宣言を朗読。大きな拍手を受け第1部大会は閉幕しました。

休憩を挟み、第2部が幕開け。最初に、NHK名古屋放送局アナウンス専任部長・杉浦隆氏が50周年記念講演を行い、続いてアトラクションとして、「津軽三味線 雅會」の皆さんが津軽三味線を演奏。時代劇メ



ドレー等おなじみの曲も演奏され、会場の皆さんは曲に合わせて手拍子をするなど大いに盛り上がる中、大会は幕を閉じました。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

第22回 女性部チャリティーバザー



恒例のチャリティーバザーが、10月9日より3日間、豊橋市民文化会館リハーサル室にて開催され、多くの買い物客でにぎわいました。品物を提供して下さった会員、会場に足を運んで下さった市民の皆さま、また、チャリティーバザーに関わった一人一人の心の結集で大変良いチャリティーで終えることができました。心よりお礼申し上げます。今、私は「三方よし」ということばを思い出しております。物品の提供者、購入者、作業従事者、それぞれにその立場は違っても、事業に携わった人たちが喜んでいただけるようなバザーでありたいと願ってきました。

振り返ってみますと、反省点も多々ありますが、その反省点を次へのステップにして、より良いバザーが継続されることを願っています。また、この活動を通して会員の皆さまの絆が深まり、次の活動力の向上につながっていくことを期待いたします。

(女性部長 石川 房代)



さて、市老連は昨年、創立50周年を迎えることができました。これもひとえに、これまで歴史を築いてこられました先輩方々、また会員の皆様方のご尽力によるものであると心から感謝申

上げます。また、50周年の記念事業として若年層が参加しやすい

今年、次の10年をさらに発展させて迎えるための1年であると考え、今一度老人クラブの果たす役割を再確認し、会員数の増加を目指して様々な活動を行っていきたく思っておりますので、どうか皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

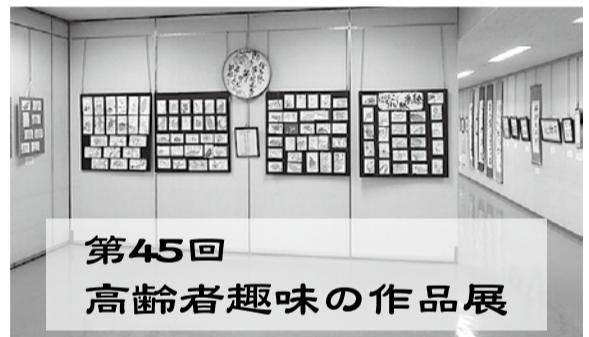
ゆたかクラブ豊橋
(豊橋市老人クラブ連合会)
会長 金田 好正

新年明けましておめでとうございます。市老連会員の皆様にはますますご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろは、ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会)の事業にご理解とご協力をいただきまして厚く御礼申し上げます。

し上げます。しかし最近では「老人」という言葉に抵抗を感じる世代が増え、加齢者減少の要因にもなっています。そこで50周年を契機として、老人クラブのイメージアップを図るため、愛称の募集を行い、242件の応募の中から「ゆたかクラブ豊橋」と決定いたしました。今後、この愛称を積極的に使用し、若年高齢者が入会しやすい雰囲気づくりに努めていきたいと考えております。

今年、次の10年をさらに発展させて迎えるための1年であると考え、今一度老人クラブの果たす役割を再確認し、会員数の増加を目指して様々な活動を行っていきたく思っておりますので、どうか皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

いゴルフ・ボウリング・吹き矢の3種類のスポーツ大会を新たに導入実施致しました。そして市老連事務局のご尽力により「ゆたかクラブ豊橋」のホームページを開設することができ、パソコンに少しでも親しんでいただき、今後も新規会員の入会を促進しクラブの発展につなげていきたいと考えております。



第45回 高齢者趣味の作品展

10月9日(水)～11日(金)の3日間にわたり、豊橋市民文化会館展示室において、第8回とよはしシニアフェスティバル高齢者趣味の作品展が開催されました。

絵画・ちぎり絵・木版画・ぬり絵・絵手紙・写真・水墨画・南画・手工芸・華道等、設楽町の方も含め261点が出品されました。豊橋の方の出品数は昨年度とほぼ同じ点数でした。入場者数は570名と昨年を187名下回っていました。

今年から、8月末の残暑厳しい時期を外して前記のように10月開催にしました。

出品された作品の中には絵手紙の作品の多さが目を引きました。グループに加えて、気軽にできる趣味として、また、心を伝え合う楽しみの深さも手伝っているのでしょう。

日々の嗜みを作品に高め



て、生き甲斐の糧としている出品者の心と、見つめる鑑賞者の出会いの場となる作品展は、誠に意義深いもの。経済や社会環境が目まぐるしく変化する中において、製作への没頭は、優雅な時間の創作。そして、至らなさを発見はさらなる成長と高みへの挑戦。今後作品展が、出品者の心と鑑賞者の豊かな出会いの場となるように祈っております。(広報文化部長 小山 正博)

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

各種スポーツ大会結果報告

第15回 高齢者ペタンク大会

◎日時/9月26日 ◎場所/豊橋市陸上競技場

参加人員...158名・48チーム

優勝	花田B
準優勝	吉田方A
第3位	津田C
第4位	細谷D
第5位	花田A
第6位	玉川C
第7位	牛川B
第8位	花田I



第37回 高齢者ゲートボール大会

◎日時/10月23日 ◎場所/豊橋市陸上競技場

参加人員:約120名・17チーム



優勝	玉川
準優勝	高豊
第3位	高山、新川

第15回 高齢者グラウンド・ゴルフ大会

◎日時/11月7日 ◎場所/豊橋球場 (参加人員:約550名)

男性 総合優勝...菰田 正二(豊)

優勝	Aブロック	菰田 正二	豊	Bブロック	山岸 偉明	幸
準優勝	堀田 秀夫	吉田方		伊藤 五六	福岡	
第3位	田代 勝也	花田		高津 義数	高山	



女性 総合優勝...大村日出子(東田)

優勝	Aブロック	立岡か津代	多米	Bブロック	大村日出子	東田
準優勝	柘屋 良子	植田		夏目きく子	東田	
第3位	仲井美代子	向山		西村レイ子	多米	



ゆたかクラブ豊橋 創立50周年記念 第1回 富安貞夫杯ゴルフ大会

◎日時/11月28日 ◎場所/新城カントリー倶楽部 (参加人員:132名)



優勝	松下 晋武	谷川	第6位	寺内登志雄	杉山
準優勝	河辺 勝利	松葉	第7位	藤田 浩	高山
第3位	梅澤 修治	吉田方	第8位	大城 琢司	大清水
第4位	高柳 力	老津	第9位	中西 靖夫	西郷
第5位	夏目 六次	植田	第10位	森河 良充	松山

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

★スポーツニュース★

10月10日、豊橋市民文化会館ホールにて高齢者趣味の演芸大会が開催されました。当日は晴天に恵まれて、早朝より多数の人が開館の時間を待って並んでいました。

9時30分には主催者を代表して、ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会)金田会長のあいさつがあり、続いて大川長寿介護課長のあいさつで幕が開き、最初の歌謡曲から演技の発表が始まりました。出演者

は福祉センターや市民館等で日頃趣味の教室で活動している45組566名の皆さんで成果を発表しました。演芸の種目は、歌謡曲・民謡・民謡・詩吟・ダンス・舞踊・新舞踊・健康体操・童謡唱歌・フォークダンス等で、それぞれ熱演していただきました。

例年のことながら、昼の休憩時間に、午後の出演者のグループが最後の仕上げの練習をする風景が見受けられました。

今回、健康づくりとして客席の皆さんと一緒に体操を指導しながらなごやかに体を動かして、楽しく過ごしたグループもありました。舞踊・新舞踊の出演者の皆さんは素敵な衣装で踊っていました。また、ダンスの皆さんも美しい衣装でステップを踏んでおり、出演したすべての組もそれぞれ衣装や飾り等で雰囲気が出て盛り上がりました。楽しく過ごした一日でした。来年も演芸大会にはぜひ多数の皆さんの来場を期待しております。

(生きがい事業推進部長 藤村 増男)

第36回 高齢者趣味の演芸大会



熱演に続く 熱演

華やかに 舞台を彩る

第 23 回 豊橋市シルバースポーツ中央大会

11月21日、第23回豊橋市シルバースポーツ中央大会が豊橋市主催、ゆたかクラブ豊橋（市老連）、豊橋市体育協会共催で、今年から会場を陸上競技場・豊橋球場に移し開催されました。

36校区から約400名の選手が参加し、ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフの3種目の競技で競い合いました。いずれの競技も、ブロックの予選を勝ち抜いてきた選手だけあって、本戦ではハイレベルの戦いとなりました。

閉会式では総合優勝、準優勝ブロックと各競技の1位から3位までが表彰を受けました。



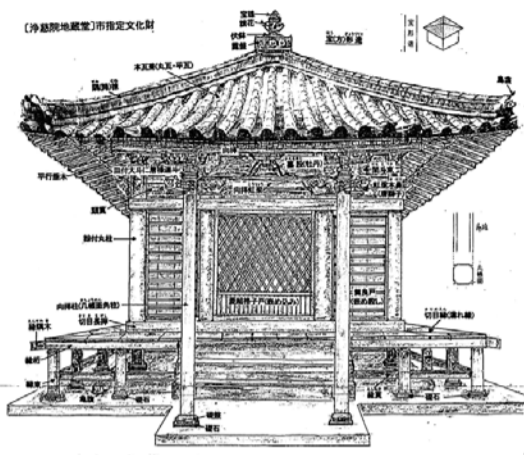
ブロック 総合優勝 大清水ブロック

ブロック 総合準優勝 牟呂ブロック

種目別結果	ゲートボール	優勝 牟呂・汐田校区 準優勝 新川校区 第3位 つつじが丘校区
	ペタンク	優勝 福岡校区 準優勝 東田校区 第3位 植田校区
	グラウンド・ゴルフ	優勝 西郷校区 準優勝 植田校区 第3位 野依校区

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動



新川校区

豊橋駅周辺の寺社などを訪ね歩く 身近な歴史を学びつつ

ゆたかクラブ新川ウォーキング
村田 忠男

11月8日(金)、晩秋の絶好な日和に恵まれ、豊橋駅西口に集合。浄慈院(羽田八幡宮文庫)大聖寺(豊橋文化財センター)神明公園で昼食・解散という身近にある文化財や史跡などを拝観や見学しながらのウォーキングをみんなで楽しんだ一日でした。豊橋駅西口で新老連会長よりあいさつがあり、お茶と資料を配付して9時に出発。

浄慈院 戦災で市内中心部の建物をほとんど失ったが、浄慈院周辺は戦火を免れた。地蔵堂は江戸時代の文化を伝える大事な遺構であり、平成20年に市文化財に指定された建物。

羽田八幡宮文庫 江戸時代の建物で、門・社務所離れ・蔵の3棟が造形の規範となっているものや、国土の歴史的景観に寄与しているとして、国登録文化財に指定された貴重な建物。見学は垣根越しになった。残念！文庫の書籍は豊橋市で管理し、豊橋市中央図書

館の基となった。

大聖寺 松葉小学校近くの急な坂道を登った所にある。山門の脇に石塚貝塚の標柱が立っている。市の史跡。本堂や境内で住職の説明を拝聴。祈禱も受けたりした。

豊橋文化財センター 展示室を学芸員の案内で出土品や牟田にある貝塚の写真的説明を受ける。古代の人々の生活の様子などを想像するのも面白い。

神明公園で解散。今回は坂道が多かったが、大勢の同行だと知らぬうちに歩き、心地よい疲労感で気持ちよい時間を過ごすことができました。

高山校区

ふれあいウォーキング

南ふれあいクラブ
鳥居 弘泰

わが高山ふれあいクラブ(老人クラブの名称)が毎年恒例の行事として、ふれあいウォーキングと題して行っている行事があります。

これは7月の第4週の日曜日開催される高山浅間神社まつりに合わせて、朝9時に高山校区市民館に(今年は50名参加)会して、ラジオ体操終了後、旧姫街道へ向かい、江戸時代お姫様が泊まったといわれる本陣の前を通り、里山の風景を左右に見ながら木立の中

をおしゃべりに花を咲かせ、和気あいあいと浅間神社登り口までウォーキングします。

毎年参加者の顔ぶれが変わるのが残念なことでありますが、新しいメンバーが加わることもあり、お互いの近況も知る機会でもあり、大変楽しみな一日となります。

高山浅間神社は天平勝宝2年(西暦750年)、富士浅間神社大社より勧請されたと伝えられ、頭浅間・腹浅間・足浅間と三社三神

(現在は合祀され二社三神)よりなり、身体の守り神として江戸時代より篤い信仰を集め、それぞれの部位の病に靈験があると伝えられています。

また、夜祭(現在は日祭)として昭和30年代までは多くの参拝者が訪れ、神社階段下から旧姫街道約500メートルにわたって露店が軒を連ね大変な賑わいでした。

ふれあいウォーキング参加者の中でも元気な方は200段の急な石段を登り、足浅間・腹浅間・頭浅間と各社に参拝し健康祈願します。



鷹丘校区

わがクラブの「友愛訪問・一声運動」ご挨拶

小鷹野クラブ 鶴澤 庄三

訪問してご本人またはご家族にお渡しする「あいさつのお手紙」です。内容は季節ごとに変わり、またクラブの最近の状況などを載せますが、文字数の関係からカットしてあります。

拝啓

「光陰矢の如し」とか申しますが、また一年が過ぎよつとして居ます。お体の調子はいかがでしょうか。

胸が痛みます…。

当地も師走に入り、まもなく本宮山嵐が膚をつんざく候となり、寒さも益々増して来る折柄、一層ご自愛の程願ひ、来たる年がまた良いことがありますよう、祈念いたしまして書中ながらご無礼致します。

平成24年歳暮

敬具

ふりむけば昭和は遠く

ひたすらに

今を生き来て

半寿となりぬ

昌三

(小鷹野クラブ役員一同)

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動

野依校区

万場調整池をウォーキングについて

楽友会 小野田 治

11月13日9時、野依台中央公園に集合。16名で万場調整池へ。ストレッチ運動をゆつくりと息を止めないよう、右に有酸素運動をし、右回り北側を。はじめは顔が小寒く感じましたが、西の果ての休憩地では老津方面の景色が一望され、キャベツ・ブロッコリーの見事な出来映えに見とれ、



そこらから万場調整池の難工事を思いつつ感心し、そのおかげが現在の有効活用法に賛辞を交した次第です。そこからは下り道で、底に

つくまでは楽でしたが、今度上るときは息苦しく小汗をかいた次第です。この時がこのウォーキングの正念場で、上りきった地点が水の展示場でありました。そこからは下り道で、出発地点が間近に見える所になりました。相対的にいえば起伏もあれば、けっこう見晴らしも良かったし、トイレも500メートルくらいに点在していたし、車道も手近に。また、適当箇所に駐車場もあり、春となれば、桜の観光スポットにもつてこ

いと思いました。所要時間は小休止を入れ、小一時間程度でした。これからの健康増進にうってつけの箇所として、さぞかしにぎやかになることでしょう。

ウォーキング後の整理運動を行いながら、年とともに血液の循環が衰えていくのを助けるためにも精を出してウォーキングを行っていただきたいものですね。足腰が動かなくなつてからは遅いのです。お誘いがありましたらどうかご参加ください。

芦原校区

歴史探訪ウォーキング パート5 「旧陸軍があつた 栄校区を歩く」

芦原校区老人クラブ連合会 伊藤 公満

今回は、華やかな時代があつた近くの栄校区のことが知りたく、案内人をご当地選出の衆議院議員・根本幸典先生にご紹介を依頼。4月上旬「栄校区まちづくりを考える会」代表の市倉安幸さんにお会いすることができました。明治41年(1908年)に陸軍第15師団を誘致、その当時の豊橋市の人口が4万のところ、軍人1万人と一大軍都に急発展。

6月5日(水)晴れ、参加者60名。渥美線で芦原駅から南栄駅まで電車。旧兵器廠の通用門と哨舎など、また、工業高校では先の大戦において豊川海軍工廠で学徒動員中亡くなられた42名の慰霊碑とからくり時計を、先生のご案内で見学することができ、時習館では市制100周年記念(2006年)浅丘ルリ子主演の「早咲きの花」の題名になった学徒動員中に亡くなられた慰霊碑などを見学しました。



軍用地の規模の大きさにも驚き、また、若くして戦争の犠牲になられた方々のご冥福をお祈りしました。愛大では国登録文化財旧陸

軍第15師団司令部庁舎前にて記念写真を撮り、舎内で先生から学び、終わりに同大学の学食「ベル」にて、各自めいめで楽しく昼食。

わずか半日でしたが、市倉さんをはじめ多くの方々の協力のもと、おかげで無事に終えることができました。これからもまた新たな企画をし、仲間と共に元気に活動したいと思っております。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

多米校区

歩け歩け運動

第三和来会 安住 敬子

11月16日、多米校区和来会のウォーキングが開催されました。

東陽地区市民館前に集合。現在掘削されている牛川トンネルまで約1キロ半くらいの距離でした。事前に許可を得て内部を見学することができました。現場で用意されていたヘルメットとマスクを着用して行進しました。強大なマシンを操作して掘削するトンネルのスペシャリストの存在を初めて知りました。内部はまだ未完成でしたが、土砂と粉塵と水との事後処理、近隣の騒音と振動への対策の配慮等、人と地域と自然への思いやりをモットー

に心がけて作業しているそうです。トンネルの目的は環状機能により通過交通を迂回させることで中心市街地の渋滞緩和を図り、早くて便利になります。改めて人間の頭脳の発想と技術力に感動しました。完成はあと2年くらい。全長630メートルになるそうです。

参加者全員が楽しく無事に過ごせましたことに感謝いたします。

現場の皆様、説明等ありがとうございました。県道東三河環状線(牛川トンネル)は仮称ですが、素敵な名称を期待しています。秋晴れの歩ゆむ楽しさ 老いわすれ



牛川トンネルで集合写真

ゆたかクラブ豊橋 (豊橋市老人クラブ連合会) ホームページのご紹介

「ゆたかクラブ豊橋」のホームページでは、50周年記念大会やシニアフェスティバルなどの報告や各種スポーツ大会の結果、機関紙「吉田春秋」の過去の紙面などをご覧いただくことができます。



また、理事会で配付する申請書様式などもホームページからダウンロードできます。ぜひ一度、ご覧ください。

閲覧方法：Yahoo、Googleなどで

ゆたかクラブ豊橋

検索

校区・単位クラブ活動



花田校区

のんほいパークウォーキング

高砂会 鈴木 俊雄

台風27号が日本列島をかすめた10月26日、花田校区老人会の「のんほいパークウォーキング」に参加した。...

け、11時頃には全員東管理事務所の会議室に集まった。まず公園管理担当の鈴木部長より「のんほいパーク」全体の説明を受けた。...

りやすく説明をいただき、見るべき目標を確認できた。特に動物園の動物には「ジジ・ババ」はいないとお話は印象に残った。...

会員随想

お伊勢参り

八町校区 旭第一寿会 中村 恒道

昨年の春の4月8日に、次男と一緒に伊勢参りに行ってきました。...

渡満の思い出

飯村校区 第二飯寿会 西川 文子

昭和18年5月、主人の実家のある石川県七尾の港より、大豆と茶の交換船で義妹と私は牡丹江へ、満州へ...

た。連れていけばさぞ喜んでおはらい町の中ほどに、伊勢路の代表的な建築物が移築再現されたスポットがあります。...

参りました。宇治橋を渡り歩いて行きました。私は二度目でしたので大体分かっていました。...

19年夏頃から北九州八幡製鉄所に爆弾投下、昭和製鋼所も爆撃を受けます。会社上空に煙幕を張っても敵機は正確に炉の上に落ちていくのです。...

らからやっと助かりました。生命を頂いたことに深く感謝し、余生を精進して生きたいと思えます。...



務の主人のもとへ旅立って行きました。汽車の中で一

帰りは朝鮮を縦断して、関釜連絡船で帰国し、引き揚げの苦労はさほどではありませんでしたが、郷里の福井で空襲に遭い、生命か

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

高齢化社会に思う

嵩山校区
西ふれあいクラブ
鈴木 暢二

最近のニュースで時々見かける老人の孤独死、認知症老人の踏切事故、非常に悲しい思いがしてこの先が暗くなります。

私事ですが9月に心筋梗塞になり、救急車のお世話になりました。はじめは胸の痛みも我慢できる程度のものでしたが、時間が経つと気が薄れてゆくのだそうです。私の場合、隣のご主人が心筋梗塞の経験者でしたのでアドバイスを受け、救急車を呼びました。医師の

話では3人に1人が亡くなる病気がそうです。一人暮らしの老人がこのような病気になるたらと考えると「ゾッ」とします。

話が余談になりましたが、私たちの老人クラブでも一人暮らしの老人が増えており、訪問活動や一声運動などしておりますが、孤独死をゼロにできるかどうか分かりません。東北の震災後、仮設住宅で、玄関前へ元気なら白い旗を出すという方法をうちのクラブでも参考にしたいと考えています。



病院は病人を長くおけず転院させられます。介護は個人とする時代は終わり、全体(地方自治体を含む)で考える時代がきたのではないのでしょうか。徘徊する認知症の老人を介護者の責任にするというのは一考をしたいと思います。

超高齢化社会に思う

西郷校区
西川西部長寿会
堀井 啓正

書店を歩くと高齢者による「シルバー川柳」の本が、たくさん並んでいる。なぜ、こんなに多いのかと調べて考えてみる。確かにその大部分は、毎日の暮らしにユーモアを添えて、誰もが迎える「老い」を、明るくしたたかに、そして元気に詠っているものが多い。

「シルバー川柳」を読めば、笑いながら、ウンウンとつなずき、元気なお年寄りの社会生活を予感させ

る。何よりも遊び心がいっぱいあるのがいい。しかし、川柳が難しいと思うのは、私だけではない。構えてしまうのである。

日本は、今や4人に1人がお年寄りという超高齢化社会になっている。それゆえ、問題も山積しているのであるが……

私にとって、「いかに老いるか」は、重要なテーマである。そこでお年寄りの「あいうえお」を、次のように考えてみた。

〈あ〉は甘えず、
〈い〉は威張らず、
〈う〉は嘘つかず、
〈え〉は遠慮しない、

フランスの不思議

花田校区
西羽田町老人クラブ
羽田 光江

東愛知新聞社主催のミスみなとと行くコルシカ島の旅行に同行した。オランダ経由でフランスのニース空港に降りた。飛行時間14時間の長旅である。ニースは地中海沿いの風光明媚なヨーロッパのリゾート地で太陽の光を浴びて紺碧に輝く海は素晴らしい。初日ニース観光をして、翌日午後コルシカ島に渡る予定である。

港に近づくガイドさんが「船がいませんね」と発した。いつも停泊している場所に船が来ていないのだと。これは大変と一行



ニースの教会の前で

果、トゥーロンから出発して船中泊に変更とのこと。当日予定していた期待の豪華ホテルに宿泊できないばかりか、午後の予定は丸つぶれた。また、トゥーロン港は50キロほど離れた所であり、高速道路で2時間余りしたらガイドブックに載っていた大型フェリーが停泊していた。乗船できると分かってやっと安心したが、夜まで乗船はできない。待つこと3時間、やっと乗船が許されたが、フェリーとはいってもバスは降ろされ、私たちは個々の荷物を運んで乗船することに。フランス本土のバスはコルシカ島に乗り込むことができない決まりだとのこと。長いテープで仕切られた通路をスーツケースを引っ張って船の狭い通路よりエスカレーターを降りて4階のロビーにたどり着いた。エリアの区別がしっかりしているのに驚いた。私の初体験であった。

忘れられない 手押し信号機

多米校区 第一和来会
坪内 英子

バスを降りて、すぐそばに手押し信号機がありました。左右をよくしつかりと見て、車はまだこのほうなので信号機を押さずに小走りに渡りました。その時、停めていた車の横からジャンパーを着たおじさんが手招きでオイデオイデを

しています。このおじさん、道でも聞かれるのかなー

皆戸外を見回す。大型船らしきは見えない。「フランスではこんなこと結構ありますよ」と言われてもスケジュールがあることで、ツアー側と船側と相談した結果、高速道路で2時間余りしたらガイドブックに載っていた大型フェリーが停泊していた。乗船できると分かってやっと安心したが、夜まで乗船はできない。

帰ってきて自分では良いと思ってしたことなのに気持ちが悪いです。運転する2、3人の方にこの話をして聞いてみたところ、「おばちゃんのように年を取った人(私81歳です)は誰もいなくても押しして青にして渡ってくれ。必ず守ってくれするように」と、きつく言われました。以後、手押し信号機は必ず押して青になって停まってくれ、た車の方々に頭を下げて渡っております。今後は必ず守ってまいります。

ようびんクラブ

前芝校区 さつき会
北河 進

年寄りには、よいしょ、どっこいしょの掛け声が起動力となり、脳も体も活性化します。何もしたくない、することがないという無気力生活でなく、みんなで集まって何かをするエネルギーを育てることが大切です。どっこいしょ、よいしょの掛け声とともに活動しましょう。



紀行 '13・8
八ヶ岳山系

阿弥陀岳

玉川校区
東森岡悠友会
河合 功恭

「夏山はどこに」とメール。「阿弥陀岳が未登です」と返信がきた。7日の早朝

Yさんと発つ。登山口は美濃戸口バス停から奥に林道を走り、終点にデポする。今日の目的地、赤岳鉱泉小屋へは北沢コースに。陽は高く林道は蒸し暑いシラビソの原生林を通り、沢沿いになると一変、涼しい風が生き返らせた。川床が赤茶けた所で前方を見上げる

私たちの町

松葉校区
大橋通いきいきクラブ
金子 清治

昔、城海津(旧町名)にお城があったという話。石垣や堀の跡など今は見

られません。(私の宅地、平成22年頃に4階建ての基礎工事で掘り下げたとき、大量の岩石が出ました。西北の位置に当たります。)

大橋通町内清源寺の境内が(戦災前)昭和20年6月、豊橋大空襲被災、町内全家屋が炎上する(※注)。城海津町内の周りが古城の跡で

と、横岳大同心正面岩壁がそびえていた。何年ぶりか、たしか10月末で山岳会の先輩と登攀完了後、夕暮れの下降路でのアクシデント等の記憶がよみがえり、懐かしく感じながら小屋へ。鉱泉で汗を流して夕焼けの大同心を眺めて缶ビール。夕食は牛のステーキ、時代は変わったものである。

翌朝慌しく小屋を後に中山乗越、行者小屋、赤岳への分岐点と進み、ここより右にシラビソ、岳樺林をシグザグに登るとコルに出た。ここからがこの山行の本番で、見上げると垂直に近い岩稜帯が直下まで続いている。取り付いて見るとしっかりと足場。ハシゴ

があるため、順調に高度を稼げた。頂上(2805メートル)には阿弥陀様が鎮座して、まずはお参り。八ヶ岳連峰の眺望に満喫す



大同心

る。下降は高度感に加えて浮石がさらに緊張を高め、ひたすら足元を確かめながらコルに、一本立てると言って喉を潤す。登った道



阿弥陀岳

を辿りながら下り、行者小屋前のデスクで大休止。行動食を食べる。このひとときが何とも言えないリラックスタイムとなる。登りの



阿弥陀岳山頂

ルートとは別の南沢コースを下るがこれが難路で、脚はガタガタと笑い出して這這の体で車に。温泉を訪ねて走る。

何も残っていません。ただ、松葉校区内にあります。

悟真寺さんの間数録に城海津清源寺境内は東西34間、南北140間と記されていますから、清源寺を中心

元大橋通役員
故天野金次郎寄

注：昭和20年6月19日夜半から20日未明まで、米軍B29型機136機が焼夷弾爆撃。焼死者624人、中央市街地全焼失。



季節感を大切に?

西郷校区
西川東部長寿会
今川 正弘

昨年の天候は冬が終わった

たら、すぐに夏が来て、夏が終わったと思つた途端に冬が来てしまった。ここ数年は春と秋が非常に短く、気持のよい日差しの中で農作業ができる日数は極めて減ってきたと感じられるのである。これは年寄りの思い過ごしであろうか。

私は柿の栽培のまねごとをしているが、昨年ほど色づきの遅れたことはここ10

年にはなかったと記憶される。いつまでも高温が続いたためと思われるが、それにしても今後このような気象に変わっていくれば、旬という言葉は死語になってしまわないか心配である。

まあ21世紀になって野菜などは高度に制御された施設内で大量に生産されており、すでに野菜には旬は存在しないようであるが。

古来から日本には春夏秋冬があり、日々の移ろいを周りの木々や草花、その間を舞ったり、飛んだりしている昆虫や鳥たち、空を漂う雲などから教えてもらっ

ていたものである。しかし、季節が三段跳びに変化してしまつたら、時の変化を感じ取る能力を放棄してしまふのではと心配になる。

そのため、最近自然の中に身を置いて草花や鳥たちと仲良くしようと思つているが、なかなかスムーズに、一朝一夕には仲間にはしてもらえないが、人災や自然災害から草花を守っていくことをすれば、少しでも心を開き友達くらいにはしてくれるのではと思つて

いる今日この頃である。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

母を看ながら

栄校区 弥生町大空会
小山 正博

大正12年生まれの母が施設に入所している。糖尿病からくる2回目の脳梗塞を起こしたのは5年前。左足と左手。リハビリも効をな

さない。臓器の衰弱で筋力、体力の低下は著しく、8月からは寝てばかりの退屈な日々嫌気がさして、早く死にたいと望んでいる。決められた寿命だもの、神様が迎えないことにはね。と諭すのだが…。幸い認知症は見受けられない。衰弱の末の静かな死を望むばかりである。誰もかたどる道。ピンピンころりは至難の技か。食事に気をつけてと言われるけれど、性格と一緒で良い人にはなれないように、好きな食べ物、いわゆる嗜好性の歪みからくる病気は避けられようもない。性格の歪み、嗜好性の偏



りには置いて、今から努力して身につくもので老いを楽しまたい。歌は下手だった。20年近く楽しんできたら、少しは歌えるようになった。上達の跡が確認できることは、嬉しいことである。継続性が生まれる。声を出すこと、仲間と語り合えること。健全な老いを築く手段だと思っている。時々歌詞を見ずに歌う。これは脳トシになるだろう。足腰の衰えにも配慮する。この頃太股の筋肉の衰

会員文芸



俳句

■荻原校区 高師町明生会
朝露が蝉の飛び立ち引きとどめ

高橋 健

■岩田校区 平岡区老人クラブ若竹会
山茶花の塀越し美しく炎立ち

白井 善晴

■岩田校区 東岩田長寿会
友からの絵手紙届く烏瓜

加藤カツエ

病室の寝息それぞれ秋深む

片桐 幸枝

■岩田校区

北岩田一区老人クラブふたば会
着ぶくれて今日一日を省略す

沖村 敏博

■豊校区 西岩田親睦クラブ
梅ひとつ咲きて家族の顔が寄り

金田 英子

■豊校区 三ノ輪本町本寿会
昇り行く一羽遅れて鷹渡る

磯部 馨

■富士見校区 ニューレイク第一クラブ
「秋」
コオロギの声のみひびく秋の夜

早川 郁代

■吉田方校区 若波会
米寿越す姉に絵手紙福寿草

河合 昭子

■八町校区 旭第一寿会
夏過ぎてコスモス咲いて秋近し

中村 恒道

■牛川校区 若宮町ことぶき会
稽田に鷺の一羽が日暮まで

豊田 しげ

■福岡校区 南小池町寿会
干し物にふと包みこむ秋の風

鈴木 静子

■杉山校区 みその俳句会
古写真思ひに耽し秋の夜

花井 稔

■間引菜の浅漬け朝の香りして

市川 淑洋

■秋ふかし我が町内に字いくつ

田中 秀幸

■秋の夜や老女ひとりの酒を酌む

彦田 純子

■大鉢を前に翁の菊談義

竹内 澄子

■栗を剥く婆に寄り添ひ待つ見かな

井土 幸子

■谷川校区 中原町立岩会
大樽に梯子掛けたる新酒かな

朝倉 政敏

■一ツ身の袂に揺れたる千歳鉛

池田すみ江

■思い出は年とらぬまま秋深む

稲葉 春夫

■野分去り飛行機雲は直線に

石田 保雄

■行く秋の古刹の庭のしじまかな

川合 幸子

■野分吹き草木哀れや地に伏して

堤 昭雄

■杖の歩を犬に吠えられ秋暑し

荒井須磨子

■多米校区 第一和来会
葉がおちて並木に鳥のすがふたつ

坪内 英子

■老津校区 老津俳句会
割箸の先ふうふうと衣被

別所 善子

■雨の夜に月見酒だと洒落て見る

鈴木 純夫

■佛壇に湯気のたちたる栗の飯

石田 初江

■秋霖や膝に重たき広辞苑

中村きよ子

■竜胆に魅されし里路遠くなり

彦坂 和子

■秋の蛇どつきりびっくり納屋のすみ

三浦 松代

■芭蕉忌や天津曝の今むかし

彦坂 たか

■足湯から望む御丘秋日和

彦坂 博子

■古民具を飾る湯宿の吊し柿

高橋いすゞ先生

■庭手入れ終へし軍手の草虱

水野 せつ

短歌

■豊校区 西岩田親睦クラブ
門毎に国旗なけれど淑氣満つ
良き年なれと吟ず君が代

金田 英子

■飯村校区 シニアクラブ同好会
ウオーキング汗を滲ませ山頂へ
景色を見ながら皆お茶を飲む

長坂 一昭

■鷹丘校区 忠興絆クラブ
母よりも先に逝きにし我が息子よ
そちらの暮し夢で教えて

鶴田 豊子

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

■岩田校区 平岡区老人クラブ若竹会
テレビの字新聞読むも厭いけり
老化現象傘寿の翁
白井 善晴

■岩田校区
北岩田一区老人クラブふたば会
空青く紅くつきりとさるすべり
夏の終りを鮮やかに咲く
沖村 敏博

■岩田校区 北岩田三区福寿会
かるたとりすぎし昔を思いつつ
感謝祭にて挑戦しよう
藤田ひな子

やわらかき冬陽さし込む午後の居間
ラフランス喰む老いの幸せ
伊藤みつよ

この年もこまどり静かに里帰り
田峰の村の秋深まりて
村田 信男

■吉田方校区 若波会
スイッチを切りたる後の静けさに
鳴く虫の音に秋をしるかな
河合 昭子

■幸校区 南松原寿会
富士山は眺むる山と思いに
吾にも立てりその頂きに
金子 浩吉

幾年月憧れ有りし彼女にも
美貌の陰に忍ぶ年輪
菅谷 益夫

年重ね孫の笑顔に癒されし
今日も明日もと前向きて歩む
伊藤富士子

母想ふ糸玉繰る日なたぼこ
横に新聞広ぐ父あて
大橋 睦子

■幸校区 若松双葉会
さざんか咲くこの道が好き上りつめれば
波のきらめく水平線見ゆ
岩瀬 美子

■大清水校区 すこやかクラブ
「追憶の母」
さつきまで菊人形の如き母
揺られこもりと壺に納まる
松本 ふさ

■老津校区 老津喜楽会短歌教室
門口に金木犀の咲き始め
秋の気配にほつと息する
石田 初江

コスモスの大揺れ風を運ぶかに
倒れていても起き上がり咲く
鈴木きみゑ

主よりも犬が先達迷いなし
いつもの散歩冬はすぐそこ
ありし日の姿今甦る
鈴木 元恵

草の中真赤に咲いた彼岸花
太陽を浴びて丈は伸びすぎ
彦坂 貞子

毎年よ今年も植えたる冬野菜
天から給水ひたすら待ちぬ
伴 夏枝

秋酣たわわに実りしぐくろあり
庭の中途お辞儀している
伴 幸子

流れゆく深藍みれば秋の色
攻めこむごとく木枯らし吹くぞ
伴 匡晃

さりとてもおいておけない愛車です
想い出満載別れを告げる
柵木 早苗

墨すればほのかな匂い暮の秋
遠くの友に絵手紙を書く
原田 玲子

なつかしき藁のふとんの避難小屋
昔話しを孫に聞かせる
三浦 松代

■牟呂・汐田校区 坂津松寿会
可憐なる高山植物おちこちに
短き夏を競うがに咲く
横田 久枝

■前芝校区 短歌教室
さきがけて咲き初むさざんくわ紅色の
ほのかにさざし霜月となる
松下 正子

県民の森にて燃ゆるどうだんは
今がピークと紅巡る
山本 幸代

だいだいの花を散らせり金木犀
匂ひ袋を作りしは昔
中河 由子

狂ひ咲きの白きつつじの二つ三つ
古里の駅舎にひそと咲きをり
牧平 澄子

■多米校区 第一和来会
台風をすぐ前にして山の木は
しづくをおびてびどろだにせず
坪内 英子

■大崎校区 大崎第一クラブ
台風時シャッター閉めしすぎ間より
犬のぞくや鼻先見ゆる
大塚 千代

石巻の友より今年も柿届く
家族揃いて感謝しただく
山本 絹代

■大崎校区 大崎第二クラブ
雨不足猛暑に耐えし甘藷島
意外に収穫多きに驚く
田中さな江

■大崎校区 大崎第三クラブ
漂える金木犀の甘き香に
道行く人も笑みうかべ行く
高田よ志子

雨となる予報に今朝は早起きし
キャベツ畑の土寄せをする
近藤美代子

■東田校区 東雲町老人クラブ和友会
異気象体温調節むつかしく
テイシャツ着たりセーター着たり
松田 陽子

■岩田校区 平岡区老人クラブ若竹会
老人や日傘を差して顔隠し
白井 善晴

■吉田方校区 若波会
彼岸会に法話も今はギター入り
河合 昭子

■八町校区 旭第一寿会
年取れば足もとまでがきつくなる
中村 恒道

■東田校区
仁連木・東郷寿会川柳クラブ
「意気揚揚」
名月や女神の笑顔照らす
板橋 章一

楽しみは苦勞のあとにやってくる
凛として立つ富士我は杖で立つ
高橋 誠

風呂の湯が節水聞きたび浅くなり
爆竹が八百屋に並ぶ秋まつり
大石 綾子

川柳で人生変り生き生きと
湯水も豪雨も怖い同じ水
藤井 克代

腹出ても人生の幅出てこない
台風にお願い水瓶潤して
後藤マサ子

日の光りさし込む部屋に曾孫呼び
高からうと夏瘦せぬぞうなぎ食べ
鈴木いと子

河合 正年

■飯村校区 第二飯寿会
空家にも住んでた人の顔が見え
夏目つたみ

■杉山校区 杉山老人クラブ明日望会
孫が来る老いの体が奮い立つ
鈴木 美子

個の色で生きてるかぎり花咲かす
回る寿司はあちゃん安い皿を積む
竹内 澄子

まだ少し誘われないでと墓まいり
我耳の季節問わずの蝉しぐれ
井土 幸子

猿なみに木の実を食べた少年期
年金で甘やかして孫の無理
市川 淑洋

■福岡校区 橋良西みどり会
七十路坂夫婦楽しむ趣味の道
山下 益生

趣味の教室発表会のお知らせ

日程	ブロック	日程	ブロック
2月23日(日)	大清水	3月14日(金)	牟呂
3月2日(日)	つつじが丘	3月15日(土)	大岩
3月11日(火)	仁連木	3月15日(土)	石巻
3月13日(木)	下地	3月20日(木)	八町
3月13日(木)	高師		

※つつじが丘・牟呂・大清水・八町は地域福祉センター
それ以外は老人福祉センターで行われます。

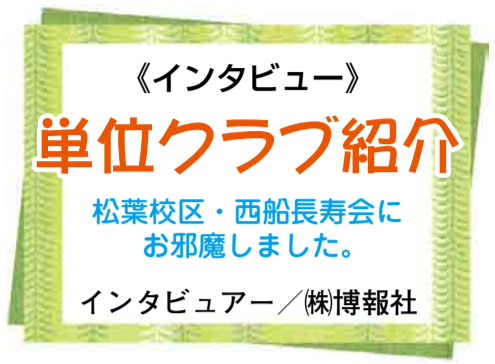


トヨバシ遊園清掃

西船長寿会の特徴の一つが奉仕活動。トヨバシ遊園の清掃を毎月実施しており、毎回15名ほどが参加、約1時間行っています。終了後にはみんなでお茶を飲みながらおしゃべりをし、帰途につきます。また、町内の資源回収も年4回行っており、4トントラッ

◆奉仕活動

木下和彦会長のもと、奉仕活動を積極的に行うとともに、7年前に建て替えた自治会館をフル活用してさまざまな活動を展開している西船長寿会を訪ねました。



《インタビュー》
単位クラブ紹介

松葉校区・西船長寿会にお邪魔しました。

インタビュアー／株博報社



資源回収

ク1台分の新聞紙等を回収。この際の収入をクラブの活動費用に充てています。こちらでも毎回15名ほどが参加しており、終了後にはお茶を飲みながらおしゃべりを楽しんでいます。

◆自治会館をフル活用
これらの活動は町内の方々にも喜ばれ、老人クラブの存在感を高めるとともに、会員同士の交流の場にもなっており、お互いの絆を深める役割も果たしています。

西船長寿会のもう一つの特徴として、活発な同好会活動があります。自治会館がクラブの活動拠点となっており、月曜日から金曜日までカラオケや手芸、社交ダンスや卓球等、老人クラブの同好会活動で埋まっています。また、ここで春と秋の年2回親睦会を開催しており、ビンゴゲーム等を行い大いに盛り上がりましており、毎回大勢が参加しま



親睦会

それ以外の大きな行事として、年末には忘年会、3月には総会と歓送迎会があり、こちらも多く多くの会員が参加します。
◆クラブの発展に向けて
「集まりたくなる環境づくり」と語る木下会長。「リーダーがしっかりとした環境をつくることで、多くの人が参加し交流が生まれる」との言葉の通り、会長就任後は組織のシステム作りにも注力しました。また、会員増強にも力を入れ、会長自ら作成した「歓迎！新加入者来たれ！」というチラシを市の広報誌と一緒に町内全戸に配布。その後役員が個別に何度も足を運び、今年度は11名の新入会員がありました。

リーダーのもと強固な組織をしっかりとつくり、今後も末長く発展し続けるクラブを目指して西船長寿会は走り続けます。

編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をいただき、ありがとうございます。ありがとうございました。広報文化部では、皆さま方のご意見・投稿などをお待ちしております。

今後も読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。
ゆたかクラブ豊橋
広報文化部

原稿募集

◎校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想などの投稿を募集します（写真を添付いただく場合はきれいなものをお願いします）。

◎原稿用紙600字。俳句・短歌・川柳については各1点ずつでお願いします。

◎必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。

◎紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。

◎締め切り／5月末日
◎投稿先／ゆたかクラブ豊橋事務局
（豊橋市今橋町1番地・豊橋市役所長寿介護課内）

☎51・2337

この度「吉田春秋」の発刊にあたりまして、広告掲載のご協力を賜り誠にありがとうございました。本紙は、会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行いたしております。今後とも何とぞ末長きご厚誼、ご支援をお願いいたします。
ゆたかクラブ豊橋

ご協賛各位へのお礼

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています